

第2回海事観光推進協議会ワーキンググループ 議事概要

日時：令和元年12月6日（金）14:00～16:00

場所：中央合同庁舎3号館11階国土交通省特別会議室

○前回の議論を踏まえた課題の整理等について事務局から説明し、「内航旅客船・フェリーの航路情報のデータ整備に関する取組」について海事局内航課より、「国土交通省のMaaS推進に関する取組」について総合政策局モビリティサービス推進課より説明を行った後、意見交換を実施。

○主な意見（概要）は以下のとおり。

- ・既存の公共交通が脆弱な地域は魅力的な観光コンテンツも多くあり、観光客増加は地域住民の利便性向上にも役立つと思うが、そうした地域における観光コンテンツの磨き上げをどうしていくかが課題。
- ・システム導入だけの事業はその後が続かない。企画、調査、マーケティングを含めて最初に考えておくべき。今後検討されるモデル事業などでも、事前のしっかりした調査等も含めたものであることが必要。
- ・コンテンツが強くないと箱だけでできていてもダメ。コンテンツの磨き上げ、「船と海」の魅力向上が必要。
- ・クルーズ船で下りた客がどこに行き何をしたのかというのは網羅的には把握できていない。もしかしたらどの地域においても同じコンテンツ提供しかしていないのではないかと考えている。満足度向上の観点からは地域のコンテンツの磨き上げが重要。
- ・MaaS事業は、MaaSアプリを作ったら採算がとれるというのではなく、結局、観光コンテンツや他のものと組み合わせて収益を上げることが必要だと思う。
- ・離島在住者は少子高齢化で減少している。生き残るためにはリピーターの確保、インバウンド客の取り込みが必要だと感じている。
- ・新造船にはWi-Fiを整備し、これまでの2倍の容量にしているが、元々の電波をどこからとるかが難しい。通信環境への支援もあるとありがたい。